



「人権を考える町民のつどい」を開催しました

12月4日、くすまちメルサンホールで開催した「人権を考える町民のつどい」では、差別をなくす人権標語入選作品表彰式、川口泰司さんによる人権講演『『寝た子』はネットで起こされる！？～部落差別解消推進法施行と今後の課題～』が行われました。

大分県人権啓発イメージキャラクター
こころちゃん



差別をなくす人権標語は、8月の差別をなくす運動月間にちなんで募集し、小学校・中学校の児童・生徒の皆さんから1,091点もの応募をいただきました。

今回、18点の入選作品に対して表彰を行いました。

入選作品は、啓発看板や短冊にして町内の学校や公共施設で人権啓発に活用されます。



<人権講演の内容>

講師の川口さんは被差別部落出身で、これまで自身や家族が受けた差別体験を語りました。また、部落問題のいまについて、「住民感覚では部落差別は昔の話。『そっとしておけば自然になくなる、寝た子は起こすな』と言われている。多くの人が自分は差別をしないから関係ないと思うかもしれないが、差別はいつも無知・無理解・無関心からやって来る」と訴えました。

近年では、インターネットを利用した部落差別が深刻化していることから、「ネット差別の対策は急務であり、差別投稿の通報や良質なサイトの検索上位（ワンクリック）運動、正しい情報の発信など、日常生活のなかで誰にでもできることがたくさんある。サイレントマジョリティ（声なき大衆）では、世の中は変わらない。差別を無視するのではなく、自分で少しでもアクションを起こすことが大事」と強調し、差別を見抜くために正しく学習することの重要性を教えていただきました。



参加者からは、「デマや偏見にあふれたネット社会の怖さを感じた」「スマホの低年齢化が進む中で、子どもたちにリテラシー（情報を読み解く力）をどう養っていくか課題だ」、「あらためて人権・同和教育の重要性を感じた」など、多くの感想が寄せられました。

1月の行事予定

※人権同和啓発センター

9日(水) 午後3時30分～	書き方教室	24日(木) 午前9時～	茶道教室
13日(日) 午後8時～	編物教室	午後1時30分～	生花教室
14日(月) 午後8時～	カラオケ教室	27日(日) 午後8時～	編物教室
15日(火) 午後1時30分～	陶芸教室	28日(月) 午後8時～	カラオケ教室
23日(水) 午後3時30分～	書き方教室		